

「西宮虹舞台」の採用企画を決定

市民企画の舞台芸術をバックアップします

市は、文化活動に携わる人材を育成するために、市民プロデュース事業「西宮虹舞台」を実施しています。6月に市民の皆さんに舞台芸術に関する企画を募集したところ多数の応募がありました。その中から、採用企画4件を決定しましたので紹介します。詳しくは西宮市文化振興財団(0798・33・3146)へ問合せを。

平成の能衣装と舞姫の鬘演
「源氏を舞ふ」

ピアノと琴・尺八などの和楽器演奏をバックに、現代の能衣装をまといつながら上方舞で「源氏物語」を舞います。新たな幽玄の世界を演じます。

【開催日時・会場】来年2月18日午後3時からプレホール

ザ・プラス・スカラース
「テンピース・プラスバンド」ライブ!

プロ奏者によるブリティッシュ・スタイルのプラスアンサンブルです。※リハーサルの見学希望者を募集中。対象など詳しくは西宮市文化振興財団へ問合せを

【開催日時・会場】3月15日午後2時半から甲東ホールで

ガラスびん音楽会

ガラスびんで美しい音楽を奏めます。武庫川女子大学ウィンドオーケストラとのアンサンブルもあります。

【開催日時・会場】3月23日午後2時からなるお文化ホールで
西宮つてステキ!
「伝統文化 能・狂言を
通してみた西宮」

市民企画の能・狂言を上演。能楽を通して西宮の歴史、伝統文化を伝えます。

【開催日時・会場】3月29日午後2時半からなるお文化ホールで

日本文化デザイン会議2007

西宮会場のイベント

参加者募集

11月23日から26日まで県内7市において「日本文化デザイン会議2007兵庫」が開催されます。地域文化の魅力を全国に発信する同会議は、毎年様々な地域で開催されていますが、今年度は兵庫県が会場になります。本市では、11月23日に次のイベントが開催されます。様々な分野の専門家を講師として迎えた、楽しいイベントですので、ご参加ください。いずれのイベントも定員あり。詳しくは市のホームページ(アドレスはペーシ下参照)の「アウトライニング」の中の「文化まちづくり」でも紹介しています。

【講師】舞踏研究者・芳賀直子さんほか

【踊る言葉】
午後5時から北口ギャラリーで開催する「踊る言葉」の参加者を募集します。講師がそれぞれ紹介しています。

【夜楽塾】
午後6時半から西宮市大学交流センターで開催する「夜楽塾」の参加者を募集します。出演講師と語り合います。参加費2000円。軽食付。

北山緑化植物園 展示コーナーの使用申込を受付

自然を感じる作品を出展しませんか

北山緑化植物園は、同園の展示コーナーで1年に15回程度、植物や自然に関する作品の展示を行っています。

同園は、平成20年度分の展示コーナーの使用申込を11月10日から30日まで受け付けます(水曜休館)。展示は植物・自然・園芸に関する内容に限ります。販売行為はできません。展示料は無料です。展示期間などについては問合せを。

申込は北山緑化植物園(0798・72・9391)へ。

2008年版
カレンダーなどを作成
北山緑化植物園は、園内の四季折々の草花を写真で紹介した「2008年版カレンダー」を作成しました。同園と市役所本庁舎1階売店、鳴尾浜臨海公園グリーンプラザ販売コーナー

で、1部600円で販売しています。また、秋・冬の園内の様子を描いたポストカードも作成しました。5枚1セットで300円です(同園でのみ販売)。

社会教育委員を公募します

申込は11月30日まで

教育委員会は、市民の皆さんの意見や提言を社会教育行政に反映させるため、「社会教育委員」を公募します。「社会教育

関係者」「家庭教育関係者の各区分から1人ずつ募集します。【対象】平成20年2月3日現在20歳以上73歳未満の人で次のいずれかの要件を満たす人。在勤者可▽社会教育関係者：社会教育に関する幅広い見識や経験がある人▽家庭教育関係者：家庭教育の向上に資する活動を行っている人

【任期】平成20年2月3日～22年2月2日の2年間
【応募方法】所定の申込書と「地域の教育力を生かす社会教育のあり方」をテーマにした小論文(800字以上1200字以下)を郵送かEメールで、11月10日～30日(郵送の場合消印有効)に社会教育・文化財グループ(〒6602-8567六湛寺町8-26教育委員会庁舎2階)0798・35・3867Eメールvo.k.shaky@nishi.or.jpへ。持参可。申込書は同グループで配布しているほか、市のホームページ(アドレスはページ下参照)の「アウトライニング」の中の「審議情報」からダウンロードできます。*書類選考合格者を対象に、12月19日(予定)に面接による選考を実施

【受講料】3000円
【定員】20人

市民・職員語学共学講座

「日常英会話の基礎」受講生募集

市は、市民・職員語学共学講座「日常英会話の基礎」の受講生を募集します。市民の皆さんと市職員が共に、あいさつや自己紹介などの初歩の日常英会話を学びながら、姉妹都市である米国のスポーケン市についての理解を深めます。講師は同市出身のビジネス英語インストラクターです。

【日程・会場】12月13日～来年2月14日の木曜(8回)午後6時15分から西宮市国際交流協会
【申込】往復ハガキに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書き、11月22日(必着)までに人材育成課(〒6602-8567六湛寺町10-3)0798・35・3940へ。多数の場合抽選。初回受講生優先 ※学生の申込は不可

文化の秋に うれしい企画

11月17・18日は貝類館が入館無料に

西宮市貝類館は、広く文化に接する機会を提供するため、11月の一定期間、文化施設の入館料を無料にする「関西文化の日」事業に参加しています。

西宮市貝類館は、同事業の一環として、11月17・18日の入館料を無料にします。当日は常設展のほか、特別展「兵庫県が生んだ貝のナチュラリスト達」を

開催しています。ぜひ、ご来場ください。
問合せは西宮市貝類館(0798・33・4888)へ。

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時半)

★西宮市貝類館の手作り講座
「貝を使ったクリスマスリース作り」12月9日の午前10時から(午後の部)と午後1時半から(午後の部)。参加費1500円(別途要入館料)。定員各部20人。申込は往復ハガキに「手作り講座希望、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、希望の部(午前か午後)を書き、11月26日(必着)までに同館(〒662-0934西宮浜4丁目13)0798・33・4888へ。多数の場合抽選

多文化共生社会を考える

多文化な子どもたちの現状と未来③

とよなか国際交流協会事業課長 榎井 縁

文化を理解する手段に「食」がある。人は料理する営みを、環境に適応する文化として発達させてきた。現代でこそ世界中にファストフードが浸透しているが、食はその地域にあった身体や健康を維持する源であり、「おふくろの味」に象徴される心のよりどころでもある。空港に立ったとき感じる「その国のにおい」が、伝統的な調味・香辛料や油の組み合わせで生じることを知ったとき、ストンと落ちる

ものがあつた。東アジアは豆醤(じゃん)圏、東南アジアから太平洋にかけては魚醤とココヤシ圏、南アジアから西はマサラ(スパイス)圏、ヨーロッパはハーフ圏、中南米はトウガラシ・トマト圏、油もゴマ油、菜種油、豚油、ココナツオイル、バター・ギー、オリブオイル…組み合わせて想像しただけでも特色ある香りが漂ってきそうだ。チベット人の友人は日本の結婚式が苦手である。神聖な魚が

丸ごと焼かれた姿(鯛のお頭つき)を見ないとならないから。かれらのごちそう「羊の脳の丸焼き」とごちそう「羊の脳」が残り、たちまち価値を刷り込む行為の無意味さが露呈される。しかしこの違いは同質的社会の中では簡単に攻撃の手段になり得る。

学校の「弁当文化」になじめない外国人は多い。汁物はダメ、バランスよく詰めるなど、知る術(すべ)もない。親からの弁当を「臭いから」毎朝コンビニで詰め替えて続けた外国人の子どもの心痛むエピソードを聞くにつけても、多様な食文化がそのままたくさんある教室が増えてほしいと願ってやまない。